

主題：
ヨハネの繕う務め

メッセージ 1

神の行政の中の御座に着いたキリストと命の繕う務め

聖書：啓 4:2, 3:21, 5:6, ヨハネ 1:4, 10:10, 11:25, I ヨハネ 1:1-2

- I. 使徒ヨハネの務めは繕う務め、すなわち、パウロの完成する務めの時の後、破壊されていたものを繕う務め、あるいは回復する務めでした。ヨハネは破損していた霊的な網を繕い、それを完全にしてさらに堅固にしました——ヨハネ21:11, I ヨハネ1:1-2, 2:7-8。
- II. ヨハネの繕う務めを通して、わたしたちは昇天し御座に着いたキリストのビジョンを受けます。彼は神の宇宙的な行政の中心です——啓4:2, 4:21, 5:6：
- A. わたしたちは神の行政の中心としての神の御座のビジョンを見る必要があります——4:2, 5:1。
- B. キリストは彼の昇天の中で御座に着いて、神の行政、神の行政上の働きを執行しました——ヘブル 12:2, 啓 3:21：
1. キリストの昇天は神の行政のために彼が御座に着くためでした。キリストは神聖な行政の御座の上に座しています。
 2. 小羊、贖い主、わたしたちの罪のためにほふられた方は、今や、御座の上において、宇宙に対する神の行政を執行しています——5:6。
 3. 七つの目、すなわち、神の七つの霊を持った小羊として、キリストは神のエコノミーの達成のために神の行政を執行しています——エペソ 1:10。
- C. 御座に着いたキリストは地上の諸王の支配者です——啓 1:5：
1. 諸国民の諸事はキリストなる支配者の地位の下にあります。
 2. もし聖書の光の中で歴史を学ぶなら、わたしたちは人類歴史が諸王の支配者としてのキリストの御手の下にあることを見るでしょう。
- III. 使徒ヨハネの務めは命の繕う務めでした——ヨハネ1:4, 10:10, 11:25, I ヨハネ1:1-2, 5:11-13, 16：
- A. ヨハネによる福音書は命の書です——1:4, 3:15-16,36, 5:24, 11:25, 14:6, 20:31：
1. ヨハネが語っている命とは、永遠の、非受造の命です。この命は実際には三一の神ご自身です——5:26, 11:25, 6:63。
 2. 主イエスが来たのは、わたしたちが命を豊かに得るためです。彼の死と復活を通して、彼はこの命を解き放ち、わたしたちに分け与えました——10:10, 12:24, 19:34, 20:17,31。
- B. この命はすばらしいパーソンであり、人の言葉では言い表せません。ヨハネはI ヨハネ第1章1節で主に言及した時、「初めから存在したもの」と言うことしかできませんでした。そして、永遠から御父と共におり、使徒たちに現れ、ご自身を命として明らかにした方について語りました——2-3節。

- C. 今日の信者たちの中の、諸召会の中の破損した状況は、命を与える繕う務めによってのみ繕われることができます。命だけが繕うことができます—— 5:16 :
1. わたしたちの中には「穴」があり、繕う必要がある多くの破損したものがあります。
 2. 穴と破損は命によって愛の中で繕われなければなりません。わたしたちは命の務めによってのみ繕われることができます— 2:25. 3:16。
- D. 今日の召会を建造するための中心的な要求は命の繕う務めです。この務めの中で、わたしたちはキリストをわたしたちの命として経験し、神の住まいとなります—— ヨハネ 2:19-22. 11:25. 14:2-3。
- IV. キリストにある信者また神の子供たちとして、わたしたちは永遠の命を持ち、永遠の命を経験するだけでなく、またこの命をキリストのからだの他の肢体たちに分け与えることができます—— I ヨハネ 5:11-16 :
- A. 分け与えるとは、命のあふれ出を持つことです——ヨハネ 19:34. 7:37-39 :
1. 命は神の内容であり、神の流れ出です。神の内容は神の存在であり、神の流れ出はご自身を命としてわたしたちに分け与えることです——エペソ 4:18. 啓 22:1。
 2. 命のあふれ出を持つことは、キリストの命を解き放つ死の中で彼と一であることです。これは、打たれた岩によって予表される打たれたキリストと一体化されることです——ヨハネ 19:34. 出 17:6。
- B. もしわたしたちが命を他の人たちに分け与えるつもりなら、召会に対する死の攻撃に気づく必要があります——マタイ 16:18. ローマ 5:17,21 :
1. 神からのものは命によって特徴づけられ、サタンからのものは死によって特徴づけられます。召会における、神から生じるあらゆるものは命であり、サタンから生じるあらゆるものは死です——ヨハネ 1:4. 10:10. 11:25. ヘブル 2:14。
 2. 召会に対する攻撃は死から、ハデスの門から来ます——マタイ 16:18。
 3. 召会に関してサタンが最も恐れるのは、召会が死の力に抵抗することです——II テモテ 1:10。
 4. わたしたちの内側にある永遠の命は、わたしたち自身においても、召会の他の肢体たちの中においても、死に打ち勝つことができます——I ヨハネ 5:11-13,16。
 5. わたしたちは内にある永遠の命を経験し、享受する必要があります。そして、わたしたちは永遠の命が流れることのできる経路となることによって、この命を他の人たちに分け与える必要があります——ヨハネ 7:37-39. ピリピ 1:24-25。